

< いばらき建設技術研究会 平成17年度 第1回運営委員会議事録 >

平成17年9月2日(金)
於: 水戸市三の丸(旧県庁舎)
茨城大学インフォメーションセンター

1. 出席者: 運営委員7名

2. 呉運営委員長 あいさつ

3. (討議結果)

(1)平成17年度 運営委員会の進め方

運営委員会への参加者が少なくなっているため、より運営委員会を活性化させるための方策を考える。

- ・運営委員への運営委員会開催通知は、Eメールにより、参加の有無を返信させることとする。5pの運営委員のメールアドレスを大至急調査のこと。議事録は、同様にEメールで送付する。欠席の運営委員には、運営委員会の資料と議事録を紙で郵送するとともに、資料等についてはPDF形式でEメール送付を検討すること。
- ・運営委員会参加の旅費の件について、水戸以外の方は、所属の組織からの手当をお願いすることとして、予算の少ない研究会からは負担しない方向とする。
- ・運営委員会を活性化するには、簡単に結論が出ないので、次回以降の運営委員会に随時提案して、各運営委員の意見を参考に改善策を打ち出すこととする。
- ・研究会のあり方に関する取り組みについては、(議題3)とも係わり、会の今後の方向性について、アンケート結果を参考にイメージ案を作成して運営委員会に再度提示することとする。

(2)建設フェスタ参加の出し物を考える。

- ・出し物は、11p企画名に掲げる4項目とする。ただし、については、茨城大学の安原先生から、スケールの大きな実験は難しいので、電源が必要でない実験か、パソコンによるデモを考えたいとの連絡あったので、検討中。
- ・、については、具体的なことは、これから内容を詰めることになっている。
- ・ポン菓子には、全くの客寄せで、経費は、12pの通りかなりかかるが、予算的には大丈夫なので実施する方向で考える。
- ・協賛金は、10万円といわれているが、予算計上していないことと会計が裕福でないので、減額をお願いしてみることとする。
- ・CRT2台、発電機のリース料はまだ未定。
- ・前日の準備と当日のスタッフ動員については、別途事務局で検討し、該当者に依頼する。

(3)会のあり方に関する検討方針は、運営委員課のあり方を含め、今後運営委員会の中で詰めて行く。

(4)平成13年度に作成した会のパンフレットは、内容が古くなったので、新しく更新し、10月30日の「建設フェスタ」に間に合わせるように印刷をかけることとする。

(5)橋梁点検分科会中間報告については、現在、上部工班(メタル班・PC班)、下部工班から点検カルテの提案をいただき、これをもとに現地研修会を8月12日(金)に開催し、水府橋・文京橋・中河内陸橋の3橋を実際に点検し、さらに第2回現地研修会を9月7日(水)に「霞ヶ浦大橋」で実施する予定で、これらの結果をもとにカルテの詳細を検討する予定。

(6)その他

- ・茨城大学工学部では、土木学会関東支部の研究発表会を平成19年3月の開催を打診されている。その中で講演会などは、研究会と共催の形で検討できないか今後検討してほしい旨依頼された。
- ・次回の運営委員会は、10月5日(水)、15:00～、場所は、旧県庁舎3階茨城大学インフォメーションセンターとする。